

お問い合わせ先番号

■ お客さまセンター

総合・料金について	一般電話からは（通話料無料） ☎0077-7-111 au電話からは（通話料無料） 局番なしの157 PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.
紛失・盗難・故障・操作方法について	一般電話からは（通話料無料） ☎0077-7-113 au電話からは（通話料無料） 局番なしの113
上記の番号がご利用にならない場合、 右記の番号にお電話ください。	沖縄を除く地域（通話料無料） ☎0120-977-033 沖縄（通話料無料） ☎0120-977-699



この取扱説明書は植物油インキで印刷しています。



この取扱説明書は再生紙を使用しています。取扱説明書リサイクルにご協力ください。

このマークのあるお店で回収し、循環再生紙として再利用します。

お近くのauショップへお持ちください。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために

お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず

④ マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2011年6月 第1版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

製造元：シャープ株式会社

TINSJAB23AFZZ
11F *** YM TK①

I
N
F
O
B
A
R
A01

iida

取扱説明書

I N F O B A R A01

目次

安全上のご注意

ご利用の準備

基本操作

文字入力

電話

電話帳

メール

インターネット

マルチメディア

ワンセグ

アプリケーション

便利な機能

端末設定

Wi-Fi/データ通信

auのネットワークサービス

海外利用

付録/索引

簡易英語

簡易中国語

ごあいさつ

このたびは、INFOBAR A01をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に「取扱説明書」をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。「取扱説明書」を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



取扱説明書ダウンロード

「取扱説明書」(本書)のPDFファイルをauホームページからダウンロードできます。

<http://www.au.kddi.com/torisetu/index.html>

・ダウンロードした「取扱説明書」(本書)のPDFファイルをINFOBAR A01で表示するには、Documents To Goの完全版を購入するか、PDFファイルが表示できるアプリケーションをインストールする必要があります。

オンラインマニュアル

auホームページでは、「取扱説明書」(本書)を抜粋のうえ、再構成した検索エンジン形式のマニュアルもご用意しております。

<http://www.au.kddi.com/manual/index.html>

■ For Those Requiring an English/Chinese Instruction Manual

英語版・中国語版の「取扱説明書」が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

「取扱説明書・抜粋(英語版)」をauホームページからダウンロードできます(発売約1ヶ月後から)。

Download URL: <http://www.au.kddi.com/torisetu/index.html>

English/Chinese Simple Manual can be read at the end of this manual.

簡易英語版／簡易中国語版は、本書巻末でご覧いただけます。

安全上のご注意

INFOBAR A01をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。

<http://www.kddi.com/customer/service/au/trouble/kosho/index.html>

au電話をご利用いただくにあたって

- ・ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通話できません。また、電波状態の悪い場所では通話できないこともあります。なお、通話中に電波状態の悪い場所へ移動しますと、通話が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ au電話はデジタル方式の特徴として電波の弱い極限まで一定の高い通話品質を維持し続けます。したがって、通話中この極限を超えてしまうと、突然通話が切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ au電話は電波を使用しているため、第三者に通話を傍受される可能性がないとは言えませんのでご留意ください。(ただし、CDMA方式は通話上の高い秘話機能を備えております。)
- ・ au電話は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。
- ・ 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、au ICカードを携帯電話に挿入したときにお客様が利用されている携帯電話の製造番号情報を自動的にauに送信いたします。
- ・ 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- ・ お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書」をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- ・ INFOBAR A01は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。詳しくは、同梱の「グローバルパスポートご利用ガイド」をご参照ください。

マナーも携帯する

電源を入れておくだけで、携帯電話からは常に弱い電波が出ています。周囲への心配りを忘れずに楽しく安全に使いましょう。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車運転中の使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内での携帯電話の使用は禁止されています。

■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。

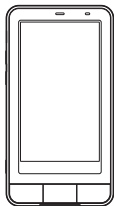
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

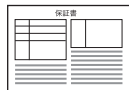
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。携帯電話の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

本体付属品について

すべてそろっているかご確認ください。



本体

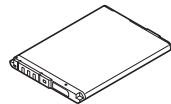


保証書



microSDメモリアカード
(2GB) (試供品)

- お買い上げ時には、あらかじめ本体に取り付けられています。



電池パック(SHX11UAA)



シャープ microUSB-3.5φ
変換ケーブルO1
(SHX11QVA)

- 取扱説明書(本書)
- ご使用上の注意
- お知らせシート
- 設定ガイド
- じぶん銀行サービスガイド
- グローバルパスポートご利用ガイド
- 001国際電話サービス(au国際電話サービス)ご利用ガイド

以下のものは同梱されていません。

- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- イヤホン

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

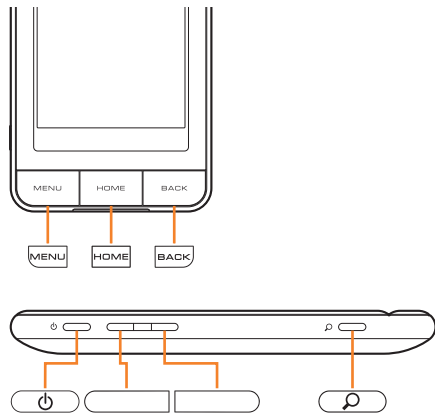
安全上のご注意

本書の表記方法について	10
免責事項について	11
パケット通信料についてのご注意	12
安全上のご注意	12
取扱上のご願い	21
Bluetooth® / 無線LAN (Wi-Fi®) 機能をご使用の場合のご願い	26

本書の表記方法について



■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化していますので、あらかじめご了承ください。



■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記	意味
iida Home→ [Phone]→[1][4] [1]→[発信]	iida Homeで「Phone」をタップします。続けて「1」、「4」、「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
iida Home→  →[テーマ]	iida Homeで  を押します。続けて「テーマ」をタップします。

memo

- ◎ 本書では本体カラー「KURO」の表示を例に説明しています。あらかじめご了承ください。
- ◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のキーなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では、ロック解除の方法をロックNo.を入力する方法で表記しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書では「シャープ microUSB-3.5φ変換ケーブル01」の名称を、「microUSB-3.5φ変換ケーブル」と省略しています。

■掲載されている画面表示について

本書に記載されている画面は、実際の画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



免責事項について

- ◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。
- ◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- ◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障がいの原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■Androidマーケット／au one Market／アプリケーションについて




- ◎ アプリケーションのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ◎ 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ◎ お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様本人または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ◎ INFOBAR A01に搭載されているアプリケーションやインストールされているアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

パケット通信料についてのご注意

- ◎ INFOBAR A01は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料割引サービスへのご加入をおすすめします。
 - ◎ INFOBAR A01でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。(「auからの重要なお知らせメール」、「WEB de 請求書お知らせメール」などのEメール受信も有料となります。) また、プランEシンプル/プランEにご加入された場合であっても、Eメール(XXX@ezweb.ne.jp)の送受信は無料にはならず、パケット通信料が発生します。(「Eメール(XXX@ezweb.ne.jp)」をご利用いただくにはIS NETへのご加入が必要です。)
- ※ Wi-Fi接続の場合はパケット通信料はかかりません。(Eメール(XXX@ezweb.ne.jp)はWi-Fi接続でのご利用はできません。)







安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために必ずお読みください。
- この「安全上のご注意」には、INFOBAR A01を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

 危険	この表示は「人が死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
 警告	この表示は「人が死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	この表示は「人が傷害 ^{※2} を負う可能性が想定される内容や物的損害 ^{※3} の発生が想定される内容」を示しています。

- ※1 重傷: 失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療入院や長期の通院を要するものを指します。
- ※2 傷害: 治療入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害: 家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

- 図記号の意味は以下のとおりです。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。	 プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ INFOBAR A01本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-3.5φ変換ケーブル、周辺機器共通



危険

必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



指示

INFOBAR A01に使用する電池パック、充電用機器、microUSBケーブルや変換アダプタ、イヤホン関連機器は必ず指定の周辺機器をご使用ください。発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。



禁止

高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下など)での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前にINFOBAR A01の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(おサイフケータイ®の機能をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。)



禁止

電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。



禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。



禁止

外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子に導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。



禁止

指定のACアダプタ(別売)をコンセントに差し込む場合やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルを接続する場合、電源プラグや接続端子に金属製のアクセサリなどを接触させないでください。火災・感電・傷害・故障の原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などをあてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

落下させる、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。



禁止

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。



分解禁止

INFOBAR A01はソフトウェアも含め、お客様による分解・改造・変更・修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などによりINFOBAR A01またはソフトウェアなどに不具合が生じてもKDDI(株)・沖繩セルラー電話(株)では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。



禁止

INFOBAR A01が落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



水濡れ禁止

水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対しないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。(雨天・降雪中・海岸・水辺などでの使用は特にご注意ください。)万一、液体がかかってしまった場合には直ちに電源プラグ、microUSB-3.5φ変換ケーブル、電池/パックを抜いてください。



濡れ手禁止

また、身につけている場合は汗による湿気が故障の原因となる場合があります。水濡れや湿気による故障は保証の対象外となり、修理ができません。



指示

外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

直射日光のあたる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。パイプレタ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。



禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品や電池パック・au ICカード・microUSB-3.5φ変換ケーブル・microSDメモ리카ードの誤飲で窒息するなど、事故や傷害などの原因となる場合があります。



指示

金属製のアクセサリーを使用されている場合は、充電の際に電池パックの接続端子、特にコンセントなどに触れないように十分注意してください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。



指示

使用中に煙が出たり、臭異や異音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら使用を中止してください。異常が起きた場合、充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントまたはシガーライターソケットから抜き、熱くないことを確認してください。またmicroUSB-3.5φ変換ケーブルをご使用の場合はINFOBAR A01やイヤホンなどから抜き、熱くないことを確認してください。その後INFOBAR A01の電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。また、落下したり、水に濡れたりなどして破損した場合などもそのまま使用せず、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。



禁止

外部から電源が供給されている状態のINFOBAR A01本体・電池パック・指定の充電用機器(別売)に、長時間触れないでください。高温やけどの原因となる場合があります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たご足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

電池バックカバーを外したまま使用しないでください。



禁止

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。



禁止

INFOBAR A01本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)をつながないでください。発火・感電の原因となります。

■ INFOBAR A01本体について



警告

必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。



指示

航空機内では電源をお切りください。INFOBAR A01の電波により、電子機器に影響を及ぼし、運航の安全に支障をきたすおそれがあります。機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社の指示に従って、ご使用ください。INFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、INFOBAR A01の電源が自動的に入りますので、航空機内では接続しないでください。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器のお近くで携帯電話を使用される場合は、電波によりこれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、携帯電話を心臓ペースメーカーなどの装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、携帯電話の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
 - ・手術室・集中治療室(ICU)・冠状動脈疾患監視病室(CCU)には携帯電話を持ち込まないでください。
 - ・病棟内では、携帯電話の電源をお切りください。INFOBAR A01とパソコンをmicroUSBケーブルO1(別売)で接続すると、INFOBAR A01の電源が自動的に入りますので、病棟内では接続しないでください。
 - ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、携帯電話の電源をお切りください。
 - ・医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。



指示

高精度な電子機器の近くではINFOBAR A01の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。(影響を与えるおそれがある機器の例:心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。)



禁止

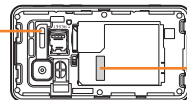
モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。視力障がいの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

注意事項:
当製品に使用されているモバイルライト光源LEDは、指定されていない調整などの操作を意図的に行った場合、眼の安全性を超える光量を放出する可能性がありますので分解しないでください。

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001



モバイルライト



CAUTION-CLASS 1M
LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS



禁止

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。



指示

ごくまれに強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に必ず医師と相談してください。



指示

通話・メール・撮影・ゲーム・インターネットなどをするときや、テレビ(ワンセグ)を見たり、音楽を聴くときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。



禁止

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信をしないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作などの影響を与えることがあります。

⚠️ 注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



分解禁止

改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
au電話は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技術マーク」がau電話本体の銘板シールに表示されております。
au電話本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いします。



禁止

イヤホン(市販品)などを持ってINFOBAR A01本体を振り回さないでください。けがなどの事故、故障や破損の原因になることがあります。



禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。



禁止

夏季に閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温になる環境には置かないようにしてください。INFOBAR A01が熱くなり、やけどの原因となることがあります。また、電池の容量が低下しご利用できる時間が短くなったり、INFOBAR A01本体が変形し故障の原因となる場合があります。



指示

長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。



指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

INFOBAR A01で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
外装ケース(ディスプレイ枠部)	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
外装ケース(側面)	ポリアミド樹脂	アクリル系UV硬化処理
電池バックカバー	ABS樹脂	アクリル系UV硬化処理
外部接続端子カバー	PC樹脂・ エラストマー樹脂	アクリル系UV硬化処理
電源キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
音量UP/DOWNキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
検索キー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
ディスプレイ	強化ガラス+ PETフィルム	アクリル系ハードコート 処理
受話口	ポリエステル樹脂	なし
カメラレンズ	アクリル樹脂	ハードコート処理
モバイルライトレンズ・ 赤外線ポートカバー	アクリル/ PC樹脂	ハードコート処理
充電/着信ランプ・ 光センサーカバー	ABS樹脂	なし
メニューキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
ホームキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理
戻るキー	PC樹脂	アクリル系UV硬化処理



禁止

人の混雑している場所では使用しないでください。携帯電話が人にあたり、思わぬけがをすることがあります。



禁止

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなど磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。



禁止

外部接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、通常は外部接続端子カバーを開けたままにしないでください。ほこり・水などが入り、故障の原因となります。



指示

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口・スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、INFOBAR A01本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。



指示

心臓の弱い方はバイブレート(振動)や音量の設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。



指示

受話口部やスピーカー部の吸着物にご注意ください。これらの箇所には磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、受話口部などに異物がないかを必ず確かめてください。



禁止

テレビ(ワンセグ)視聴中は、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。INFOBAR A01本体一部が温かくなり、火災・やけど・故障の原因となります。



禁止

ボールペンや鉛筆など先の尖ったものでタッチパネル操作を行わないでください。ディスプレイの破損の原因となります。



禁止

爪先でタッチパネル操作を行わないでください。爪が割れるなど、けがの原因となります。

■ 電池パックについて



Li-ion00

INFOBAR A01の電池パックはリチウムイオン電池です。電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。



危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。



禁止

電池パックのプラス(+)とマイナス(-)をショートさせないでください。



指示

電池パックをINFOBAR A01本体に接続するときは正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理をせず、接続部を十分に確認してから接続してください。



禁止

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。



分解禁止

お客様による分解・改造・修理やハンダ付けはしないでください。また、外装シールをはがさないでください。電池内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。



禁止

落としたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。



禁止

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片(ネックレスやヘアピン)などを接続端子に触れさせないでください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。



指示

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は傷害を起こすおそれがあるので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。



指示

電池パックをINFOBAR A01本体から取り外すときは、突起部を持ち、上方へ持ち上げて外してください。ペンなどの先の細いものを差し込んで外そうとした場合、発火や破損の原因となります。



警告

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



水濡れ禁止

電池パックに水などを直接かけたり、水や海水、ペットの尿などで濡らさないでください。また、濡れた電池パックは充電しないでください。電池パックが濡れると発熱・破損・発火の原因となります。誤って水などに落としたりしたときは、直ちにINFOBAR A01本体の電源を切り、電池パックを外してauショップもしくはお客様センターまでご連絡ください。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



指示

漏液したり異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液体に引火し、発火・破裂の原因となります。



指示

電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

■ 充電用機器について



警告

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。必ず下記の警告事項をよくお読みになってからご使用ください。



禁止

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- 共通ACアダプタ01 (別売) : AC100V (日本国内家庭用)
単相200Vでの充電あるいは海外旅行用変圧器を使用している場合は行わないでください。
- 上記以外の海外で充電可能なACアダプタ (別売) : AC100V~240V
- DCアダプタ (別売) : DC12V・24V (マイナースース車専用)



指示

指定の充電用機器 (別売) の電源プラグはコンセントまたはシガーライターソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器 (別売) が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライターソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。



指示

共通DCアダプタ01 / 03 (別売) はヒューズを使用しています。ヒューズが切れた場合は必ず指定のヒューズ (定格250V 1A) と交換してください。発熱・発火の原因となります。ヒューズの交換は、共通DCアダプタ01 / 03 (別売) の取扱説明書をよくご確認ください。



禁止

指定の充電用機器 (別売) の電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。



プラグを
コンセント
から抜く

お手入れをするときには、指定の充電用機器 (別売) の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電やショートの原因となります。また、指定の充電用機器 (別売) の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。



指示

車載機器などは、運転操作やエアバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。



水濡れ禁止

水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障などの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は直ちに電源プラグを抜いてください。



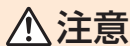
指示

充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。



プラグを
コンセント
から抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。



注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。



指示

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にパイプレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災や故障の原因となります。



水濡れ禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。



水濡れ禁止

風呂場などの湿気が多い場所では、絶対に使用しないでください。感電や故障の原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。



禁止

共通DCアダプタ01/03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。



禁止

INFOBAR A01本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ microUSB-3.5φ変換ケーブルについて



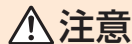
危険

誤った取り扱いをすると、発熱・漏液・破裂などのおそれがあり危険です。必ず下記の危険事項をよくお読みになってからご使用ください。



指示

ご使用のイヤホンや周辺機器のメーカーが指示している警告・注意表示を厳守し、各取扱説明書の記載内容に従って正しくお使いください。



注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電・故障・物的損害などのおそれがあります。必ず下記の注意事項をよくお読みになってからご使用ください。



禁止

microUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子に液体・金属片・燃えやすいものなどが内部に入ったり、触れたりしないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。



指示

ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。故障・感電・火災の原因となります。また、傷ついたケーブルは使用しないでください。



指示

ケーブルを抜き差しするときは、必ずコネクタ部分を持ってください。ケーブル部分を引っ張るとケーブルの破損や故障の原因となります。



指示

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

microUSB-3.5φ変換ケーブルには、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
ケーブル	スチレン系エラストマー	なし
microUSB側コネクタカバー	オレフィン系エラストマー	なし
microUSB側先端	ステンレス(SUS304)	ニッケルメッキ
3.5φ側コネクタカバー	オレフィン系エラストマー	なし
3.5φ側先端	ポリアミド	なし

■ au ICカードについて



注意

必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



指示

au ICカードをINFOBAR A01に取り付け・取り外しをするときは、手や指を傷つけないようご注意ください。



指示

au ICカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。指定品以外のもを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。



分解禁止

au ICカードを分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを火の中に入れてたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードのIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。内部データの消失・故障の原因となります。



禁止

au ICカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。



禁止

au ICカードを折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。



水濡れ禁止

au ICカードを濡らさないでください。水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。



禁止

au ICカードのIC(金属)部分を傷つけないでください。故障の原因となります。



禁止

au ICカードはほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



禁止

au ICカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。



指示

au ICカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤飲で窒息したり、傷害などの原因となります。

取扱上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ INFOBAR A01本体、電池パック、充電用機器、au ICカード、microUSB-3.5φ変換ケーブル、周辺機器共通

- 無理な力がかかるとディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、スポンジやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿は避けてください。周囲温度5℃～35℃、周囲湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。調査の結果、極端な温度・湿度条件下での使用による故障と判明した場合は、保証の対象外となり、修理ができません。
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 外部接続端子やmicroUSB-3.5φ変換ケーブルの接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、掃除の際は強い力を加えて端子を变形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中など、ご使用状況によってはINFOBAR A01本体が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 使用中、INFOBAR A01が高温となった場合、INFOBAR A01本体の保護のため一時的に一部機能を停止することがあります。
- 電池パックはINFOBAR A01の電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。
- お子様でご使用になる場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示通りに使用しているかご注意ください。けがなどの原因となります。

■ INFOBAR A01本体について

- 充電中や通話中、カメラ機能動作中、テレビ(ワンセグ)視聴中は、ご使用状況によってはINFOBAR A01本体の一部が温かくなりますので、手や顔などが触れる場合はご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイやキーの表面を爪や硬い物などで強く押しつけないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- ディスプレイが破損した場合には、直ちにご使用を中止して、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。そのまま使用するとけがの原因となることがあります。
- INFOBAR A01本体(電池パックを取り外した背面)に貼ってある製造番号の印刷されたシールは、お客様のINFOBAR A01が電波法および電気通信事業法により許可されたものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 電池パックカバー裏に貼ってあるシールは、はがさないでください。シールをはがすと、FeliCaの読み書きができなくなる場合があります。
- INFOBAR A01に登録された電話帳・メール・ブックマーク・お客様が作成、保存されたデータなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一、内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- INFOBAR A01に保存されたメールやダウンロードしたデータ(有料・無料は問わない)などは、機種変更・故障修理などによるau電話の交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- INFOBAR A01はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- INFOBAR A01で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。

- ディスプレイやキーのある面にシールなどを貼ると、誤動作やご利用時間が短くなる原因となります。また、INFOBAR AO1本体が損傷するおそれがあります。
- フォト撮影でフォトモニター画面を長時間連続して表示し続けた場合や、カメラ機能・テレビ(ワンセグ)視聴を繰り返し長時間連続動作させた場合、INFOBAR AO1本体の一部が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央にあたるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- INFOBAR AO1に磁気を帯びたものなどを近づけるとスピーカー部から音が鳴ることがありますが、故障ではありません。
- INFOBAR AO1を永久磁石(磁気ネックレス・バッグの留め金など)/家庭電化製品(テレビ、スピーカーなど)の強い磁気を帯びたものに近づけないでください。INFOBAR AO1そのものが磁気を帯びたとき(着磁または帯磁と呼びます)は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがありますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所、温度が急激に変化するような場所で使用された場合、INFOBAR AO1内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、明るさを自動調整の設定にしても、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- INFOBAR AO1は、盗難・紛失時の不正利用防止のため、お客様のau ICカード以外ではご利用できないようロックがかけられております。ご利用になる方が変更される場合には、新しくご利用になる方が、このau ICカードをご持参のうえ、auショップ・PiPitiにご来店ください。なお、変更処理は有償となります。
- 外部接続端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のmicroUSBプラグが平行になるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子に機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

- 外部接続端子カバーを強く引っ張ったり、無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- INFOBAR AO1は、防水仕様になっておりません。水をかけないでください。
- 撮影などしたフォト/ムービーデータや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、「著作権が有効なデータ」など上記の手段でも控えができないものもありますのであらかじめご了承ください。
- INFOBAR AO1は不法改造を防止するために分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 自動車などの運転中に使用しないでください。ハンズフリーキットなどを使用した通話以外の機能(メール、カメラなど)の使用は交通事故の原因となり、法律で禁止されています。
- ポケットやかばんなどに入れる際は、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 直射日光下などの明るい場所ではディスプレイが見えにくい場合がありますが故障ではありません。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は1本の指(ピンチ操作の場合のみ2本の指)で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いものや爪や金属などの硬いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイの損傷や、破損の原因になる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護シートや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- タッチパネルを強く押しすぎたり、濡れた指や汗で湿った指での操作、ディスプレイに水滴が付着または結露している状態では操作しないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、ほこりなどが付着している、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合がありますので、ご注意ください。

■ 電池パックについて

- 接続端子を綿棒や先の細いもので触らないようにしてください。接続端子は溝形状の金属バネになっているため、端子金属以外のものが挿入されると変形して正常に使用できなくなることがあります。
- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、電池パックの容量が低下しご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合には、INFOBAR A01本体から外し、ビニール袋などに入れて高温多湿を避けて保管してください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で利用できる時間が、次第に短くなります。目安として、十分充電しても利用できる時間が購入時の半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 不要な電池パックは普通のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要になった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- お買い上げ時には、十分に充電されていない場合もあります。初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。(充電中、電池パックが温かくなることがありますが、異常ではありません。)
- 電池パックはご使用条件により、寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから外してください。
- 指定の充電用機器(別売)の電源コードを電源プラグに巻き付けないでください。感電・発火・火災の原因となります。

■ microUSB-3.5φ変換ケーブルについて

- microUSB-3.5φ変換ケーブルをINFOBAR A01に巻きつけて使用しないでください。
- ケーブルを持ってINFOBAR A01をぶら下げたり、引っ張ったり、振り回したりしないでください。断線や故障の原因となります。
- microUSB-3.5φ変換ケーブルのコネクタをINFOBAR A01やイヤホンなどに接続するときは、奥まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。また、接続端子に対して平行になるように抜き差ししてください。故障や動作不具合の原因となります。
- 持ち運ぶ際や保管するときは袋などに入れて、接続端子へのゴミの付着や接続端子の変形にご注意ください。
- 通信中や充電中などご使用状況によっては温かくなることがありますが異常ではありません。
- 一般電話・テレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン・シンナー・アルコール・洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので使用しないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なマラルをお守りのうえご利用ください。
- INFOBAR AO1の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データ(以下「データ」といいます。)が変化または消失することがあり、この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 他人の容貌などをみだりに撮影・公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されているか、また聞き取りやすく録音されているかをご確認ください。
- 撮影が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはおやめください。
- 撮影時にレンズやモバイルライトに指がかからないようにご注意ください。
- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 著作権／肖像権について

- お客様がINFOBAR AO1で撮影・録音したものを複製・改変・編集などをする行為は、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権法で別段の定めがある場合を除き、著作権の対象となっている画像を転送することはできません。
- 撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 音楽機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽やテレビ(ワンセグ)などを視聴しないでください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られるため、交通事故の原因となります。(運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。)また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホン(市販品)からの音漏れにご注意ください。
- 雨の中や水に濡れるような場所では使用しないでください。

■ au ICカードについて

- au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。また、解約などを行って不要になったau ICカードはauショップもしくはPiPitまでお持ちください。
- au ICカードの取り付け、取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れには乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- au ICカードにシール・ラベルなどを貼り付けしないでください。
- au ICカード以外のカードを本製品に挿入しないでください。au ICカード以外のカードを本製品に挿入して使用することはできません。
- 使用中、au ICカードが温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご利用ください。
- au ICカードの取り付け、取り外しでは、IC(金属)部分に触れないようにご注意ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

INFOBAR AO1をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● ロックNo.

使用例	画面ロックや遠隔ロック、電話帳制限などの設定／解除をする場合
初期値	1234

● PINコード

使用例	第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、INFOBAR AO1には次のような機能が用意されています。

機能	ページ
フォルダシークレット登録	P.88
シークレット設定	P.92
おサイフケータイ ロック設定	P.170
画面ロック	P.196
電話帳制限	P.196
遠隔ロック	P.197

PINコードについて

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。

- お買い上げ時はPINコードの入力が不要な設定になっていますが、「UIMカードをロック」(▶P.196)で入力が必要な設定に変更できます。
なお、「UIMカードをロック」を設定する場合にもPINコードの入力が必要です。
- お買い上げ時のPINコードは「1234」に設定されていますが、「UIM PINの変更」でお客様の必要に応じて4～8桁のお好きな番号に変更できます。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」(▶P.196)で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPiitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

 memo

- ◎ PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のためINFOBAR AO1が再起動することがあります。
- ◎ 「PINコード」は「オールリセット」を行ってもリセットされません。

〈INFOBAR AO1の記憶内容の控え作成のお願い〉

- ご自分でINFOBAR AO1に登録された内容や、外部からINFOBAR AO1に受信・ダウンロードした内容で、重要なものは控え*をお取りください。INFOBAR AO1のメモリは、静電気・故障など不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記憶内容が消失したり変化することがあります。

※ 控え作成の手段

電話帳などの文字情報やダウンロードした辞書は、microSDメモ리카ードにバックアップすることをおすすめします。メール添付を利用してデータを個別にパソコンに転送することもできます。ただし「著作権が有効なデータ」など、上記の手段でも控えが作成できないものがあります。あらかじめご了承ください。

■ お知らせ

- ・ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどでお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ・ 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

Bluetooth® / 無線LAN(Wi-Fi®) 機能をご使用の場合のお願い

周波数帯について

INFOBAR AO1のBluetooth®機能および無線LAN機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1

・ **Bluetooth®機能:2.4FH1**

INFOBAR AO1本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4DS4/OF4

・ **無線LAN機能:2.4DS4/OF4**

INFOBAR AO1本体は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することが可能です。本製品の無線LANで使用できるチャンネルは、1～13です。利用可能なチャンネルは、国により異なります。航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® についてのご願い

- INFOBAR AO1のBluetooth®機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国/地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LANやBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth®機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth®機器により、通信速度や通信距離は異なります。

●Bluetooth®ご使用上の注意

INFOBAR AO1のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. INFOBAR AO1を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、INFOBAR AO1と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにINFOBAR AO1の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

無線LAN(Wi-Fi®) についてのご願い

- INFOBAR AO1の無線LAN機能は日本国内およびFCC/CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国/地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国/地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 電気製品、AV・OA機器などの電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障がいの原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数のアクセスポイント(無線LAN親機)が存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

●無線LANご使用上の注意

INFOBAR AO1の無線LAN機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. INFOBAR AO1を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、INFOBAR AO1と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにINFOBAR AO1の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リパース・エンジニアリング・逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはけません。

本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.



microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

The "RSA Secure" AND "Genuine RSA" logos are trademarks of RSA Data Security, Inc.

「らくらく瞬漢ルーベ®」及び「らくらく瞬英ルーベ®」は株式会社アイエスピーの登録商標です。

Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標です。

Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。

Adobe Flash Player. Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、FlashおよびFlash ロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。

Copyright 2010 Google Inc. 使用許可取得済

Android および Android ロゴ、YouTube および YouTube ロゴ、Google および Google ロゴ、Google マップ、Gmail および Gmail ロゴ、Google トーク、Google 音声検索、Picasa および Picasa ロゴ、Android マーケット および Android マーケット ロゴ、Google Latitudeは、Google Inc.の登録商標または商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™は、Digital Living Network Allianceの商標です。

DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

「うたとも®」は株式会社レーベルゲートの登録商標です。

IrSimple™およびIrSS™は、Infrared Data Association®の商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。

FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。

㊦ は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

「パールビュー」「ベストセレクトフォト」「チェイスフォーカス」「笑顔フォーカスシャッター」「振り向きシャッター」「TapFlow」「AQUOS」「AQUOS PHONE」「フンタッチシャッター」「アニメビュー」「GALAPAGOS」「GALAPAGOS SQUARE」はシャープ株式会社の登録商標または商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

Bluetooth®は、その商標権者が所有しており、シャープ株式会社はライセンスに基づき使用しています。

ドキュメントビューアはDataViz社のDocuments To Goを搭載しております。

© 2010 DataViz, Inc. and its licensors. All rights reserved.

DataViz, Documents To Go and InTact Technology are trademarks or registered trademarks of DataViz, Inc.

Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

AirStation™、AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。

The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

「mixi」は株式会社ミクシイの登録商標です。

「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。

「Facebook」はFacebook, Inc.の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社が提供するソーシャルアプリです。

「jibe mobile」はJibe Mobile株式会社の商標です。

Skype、関連商標およびロゴ、「S」記号はSkype Limited社の商標です。

EUPHONY™は、DiMAGIC(ダイマジック社)の仮想音源処理技術を含む総合的な音質向上技術の商標です。

EUPHONY™ is a trademark of DiMAGIC Co.,Ltd.

PhotoSolid®, FrameSolid®, PhotoScouter®, TrackSolid®は株式会社モルフォの登録商標です。

本製品は、沖電気工業株式会社の顔認識エンジンFSE(Face Sensing Engine)を使用しています。FSEおよびFSEロゴは沖電気工業株式会社の商標です。

MyScript® Stylus Mobileは、ビジョン・オブジェクツS.A.(ビジョンオブジェクツ)の商標です。

MyScript® Stylus Mobile is a trademark of VISION OBJECTS.

CP8 PATENT

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use. Additional information may be obtained from MPEG LA. See <http://www.mpegla.com>. This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com> for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ (以下「AVCビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、及び／又は (ii) AVCビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、及び／又はAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。更に詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) VC-1規格準拠のビデオ (以下「VC-1ビデオ」と記載します) を符号化するライセンス、および／または (ii) VC-1ビデオ (個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります) を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

コンテンツ所有者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術によって著作権を含む知的財産を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用してPlayReady保護コンテンツおよびWM DRM保護コンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツの使用を適切に規制できない場合、PlayReady保護コンテンツを使用するために必要な本製品の機能を無効にするよう、コンテンツ所有者はMicrosoftに要求することができます。無効にすることで保護コンテンツ以外のコンテンツや他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を受けることはありません。コンテンツ所有者はコンテンツへのアクセスに際し、PlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを拒否した場合、アップグレードを必要とするコンテンツへのアクセスはできません。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved. iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2011 All Rights Reserved.

Powered by emblend Copyright 2009-2010 Aplix Corporation. All rights reserved.

emblendは、日本における株式会社アプリックスの製品名です。

本製品には株式会社モリサワの書体、UD新ゴ Mを搭載しています。

「モリサワ」「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!|Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

Portions Copyright ©2004 Intel Corporation

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

OpenSSL License

[OpenSSL License]

Copyright © 1998-2009 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

[Original SLeay License]

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Safety Information

CE Declaration of Conformity



In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the handset abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this INFOBAR A01 is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

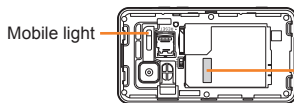
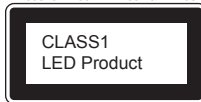
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Mobile Light

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

EN60825-1:1994 A1:2002 & A2:2001



CAUTION-CLASS 1M
LED RADIATION WHEN OPEN
DO NOT VIEW DIRECTLY WITH
OPTICAL INSTRUMENTS

CAUTION:

Use of controls, adjustments or performance of procedure other than those specified herein may result in hazardous radiation exposure. As the emission level from Mobile light LED used in this product is harmful to the eyes, do not attempt to disassemble the cabinet. Servicing is limited to qualified servicing station only.

Mobile light source LED characteristics

- a) Continuous illumination
- b) Wavelength
White: 400-700 nm
- c) Maximum output
White: 640 μ W (inside cell phone 3.8 mW)

■ AC Adapter

Any AC adapter used with this handset must be suitably approved with a 5Vdc SELV output which meets limited power source requirements as specified in EN/IEC 60950-1 clause 2.5.

■ Battery - CAUTION

Use specified battery or Charger only.

Non-specified equipment use may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not dispose of an exhausted battery with ordinary refuse; always tape over battery terminals before disposal. Take battery to an au Shop, or follow the local disposal regulations.

Charge battery in ambient temperatures between 5°C and 35°C; outside this range, battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

■ Loudness warning

Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

■ Headphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 35 mV.

■ European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.998 W/kg**.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head.

** The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 - (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.

Highest SAR value:

Model	FCC ID	At the Ear	On the Body
CDMA SHX11	APYHRO00151	0.607 W/kg	0.366 W/kg

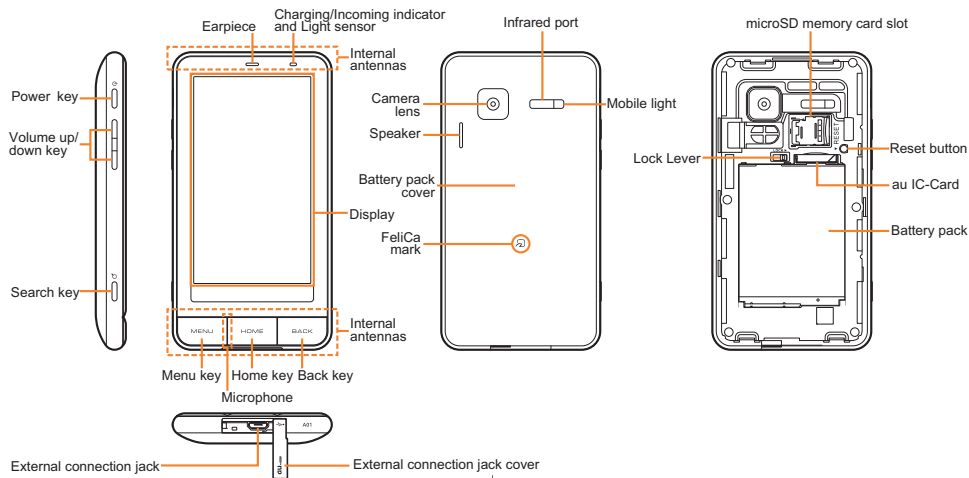
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found at <http://www.fcc.gov/oet/fccid/> under the Display Grant section after searching on the corresponding FCC ID (see table above).

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA)

Website at <http://www.phonefacts.net>.



Turning Power On and Off

● Turning Power On

Hold down  for at least two seconds.

● Turning Power Off

Hold down  for at least two seconds.

▶ Select [Power off]. ▶ Select [OK].

Switching the Screen to English

On the iida Home: Select [設定].

▶ Select [言語とキーボード]. ▶ Select [言語(Language)を選択].

▶ Select [English].

* The iida Home represents the stand-by screen.

Checking Your Own Phone Number and Mail Address

On the iida Home: Select [Settings]. ▶ Select [Profile].

Making and Answering a Call


● Making a Call

On the iida Home: Select [Phone].

▶ Enter the phone number you want to call. ▶ Select [Call].

To end a call: Slide [] in the left direction.

● Answering a Call

When the phone starts ringing, slide [] in the right direction.

When the phone starts ringing, tap [Answer] while the backlight illuminates (except when the unlock screen is displayed).

To adjust the earpiece volume during a call: Press  / .

Storing and Recalling Address Book Entries

● Storing an Entry

On the iida Home: Select [Address Book]. ▶ Press .

▶ Select [Add new entry]. ▶ Select the item you want to edit.

▶ Select [Save]. ▶ Select [Yes].

● Recalling an Entry



On the iida Home: Select [Address Book].

▶ Select the record you want to recall.

Using the Camera (Movie and Snapshot)

● Recording a Movie Clip

On the iida Home: Select [Video Camera].

▶ Select [] to start recording. ▶ Select [] to stop recording.

● Taking a Snapshot

On the iida Home: Select [Camera]. ▶ Select [] to take a snapshot.

Making an International Call

Ex: To call 212-123-△△△△ in the USA

On the iida Home: Select [Phone].


[0] [0] [1] [0] [1] [0] ▶ [1] ▶ [2] [1] [2]
International access code Area code
Country code (USA)

▶ [1] [2] [3] ▶ △△△△ ▶ Select [Call].

Number you want to call

Other Handy Features

● Setting the Manner Mode

Hold down  for at least two seconds.

▶ Select [Manner mode].

Repeat the above operation to disable the Manner Mode.

● Setting the Answer Memo (Voice Recording)

On the iida Home: Select [Settings]. ▶ Select [Call settings].

▶ Select [Call/Ans Memo]. ▶ Select [Answering memo setting].

▶ Select [ON].

For inquiries, call: Customer Service Center

For general information

● If you are calling from a landline phone: ☎ 0077-7-111 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 157 (toll free)

For repairs, loss or theft

● If you are calling from a landline phone: ☎ 0077-7-113 (toll free)

● If you are calling from an au mobile phone: 113 (toll free)